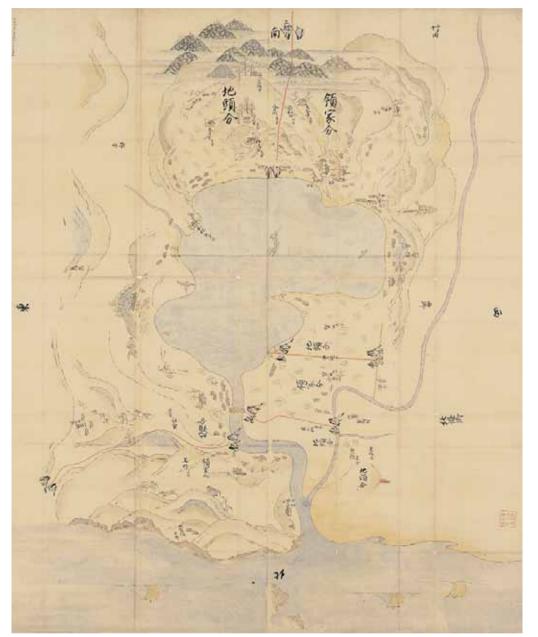
## 8 伯耆国東郷荘下地中分絵図 (模写本)

五・二㎝。紙本彩色。 仁 - 一〇八。一幅。縦一二五・八㎝、横一〇

> 海海上交通との関わりがうかがわれる。東郷荘 掛舟が三隻走る。橋津川の河口には大湊宮 る。池は橋津川で日本海につながる。 がる山地は馬野(放牧地)で馬が放牧されてい それぞれを「領家分」と「地頭分」に等分する を構成する田畠・放牧地・池・湊・寺社などの 大成』第一部、 莊下地中分絵図【東大模写本】](『中世荘園絵図 本荘園絵図聚影』五上。松尾容孝「伯耆国東郷 ために四本の朱線が引かれている。 (倭文神社) との境界となる。一宮から東北に広 (湊神社)が鎮座し、 河出書房新社、 津があった。 一九九七)。 東郷荘の日本 〔参考〕 『日 海には帆



8 伯耆国東郷荘下地中分絵図(模写本)